







# パステル館店長の文具発見



## 心を込めて、一文字ずつ

キレイな筆文字が書けるようになりたい…。そんな気持ちは引き締められそうな「写経」に挑戦してみました。



日本コンディショニング協会  
認定インストラクター  
中田ゆきえ先生  
監修・出演

盛岡市公式「かんたん体操」

監修・出演

中田ゆきえ先生

監修・出演



もりおかにしえ散歩 104  
「みちくさ編」

# 旧六日町界限（後編）



案内役 真山 重博

新年あけましておめでとうございます。前号に続き、「旧六日町」を散策します。毎日門橋から旧馬町へ続く通りと奥州街道が交差する施設「御仮屋」があつた場所

する一帯は、参勤交代途上の大名ご一行や南部駒の買付けなど公務で来盛する幕商家の看板は撤去せられ、

とし、屋号に武士の魂を残す府のお役人専用の藩宮宿泊施設「御仮屋」があつた場所

休業を命じられ、そのうえ清掃作業に駆り出されたそうですから、住民たちは suisui迷惑を被つたそうです。

東北総業①の2軒先に、おそらく盛岡最古の老舗商店「十一屋」②という酒屋さんがあります。なにしろ関ヶ原の合戦からわずか6年後の1606(慶長11)年の創業というから驚きです。初代は武

この前身である盛岡信用組合が1903(明治36)年に創業した際、初代組合長を務めたのが当時の十一屋当主・高橋伊兵衛でした。自ら驚きです。初代は武

いわば発祥の地にある盛岡信用金庫の入り口には「六

日町本部」という旧店名が

残り、町の歴史を今に伝えています。

この向かい側、穀町へと続く道路の右角に、昭和30年代に「一心太助」④とい

うスーパー・マーケットが

新のスーパーを開店した

のは、中野崎寅吉という人

物。シベリア抑留から復員

し、スーパー・ヤ・ホテルの経

営も行いました。現在、ス

パー跡には、住宅が建つて

います。

江戸時代になると『本朝

食鑑』なる書に「はらひ」

と称する記述が出てくる。

それは塩漬けしてバラバラ

にほぐれた状態の魚卵のこと。まさに今いうイクラだ

らも不明だ。

そもそも縄文時代から、

んなサケが黙っていても

近くにやつて来てくれる

のだ。おのずと食の歴史は

古くなる。

しかし、今の筋子に通じ

なっている。そ

うした背景があつてこ

の、という民話があつてこ

る。白味が滲み出でてくる。愉快

な袋状になつたままの筋子の紹介が、古い文献には見つ

かなかつた。なぜだろう

に「食つたのですか」と聞

ながら聞いた話だとい

う。今年で創業420年を迎える現

在も「盛岡十一屋」という

おしゃれな酒屋さんとして

歴史を紡いでいます。

さらにそのつ軒隣には「盛

岡信用金庫」③があります。

この前身である盛岡信用組

合が1903(明治36)年に

創業した際、初代組合長を

務めたのが当時の十一屋當主・高橋伊兵衛でした。自

ら驚きです。初代は武

田敷地内に事務所を置き、

宅敷地内に事務所を置き、

低金利で資金を融資するな

ど地域の小さな商いを支え

その人柄から新渡戸稻造と

も交流があったといいます。

江戸時代になると『本朝

食鑑』なる書に「はらひ」

と称する記述が出てくる。

状のままの魚卵自体がレア

なものだったのではないか

うか。

そのままに今いうイクラだ

と考へてはたと気づいた。

おそらくその時代、塩漬け

にする技術はあっても、袋

に割り当てられた河南地区

にいた40歩の短いみちくさ

でした。

三戸町とほぼ同時に町人

といえ、魚屋や八百屋で

受け取るもの。陳列棚か

ら商品をカゴに入れ、最後

できました。当時の買い物

は、中野崎寅吉という人

物。シベリア抑留から復員

し、スーパー・ヤ・ホテルの経

営も行いました。現在、ス

パー跡には、住宅が建つて

います。

江戸時代になると『本朝

食鑑』なる書に「はらひ」

と称する記述が出てくる。

それは塩漬けしてバラバラ

にほぐれた状態の魚卵のこと。まさに今いうイクラだ

らも不明だ。

そもそも縄文時代から、

んなサケが黙っていても

近くにやつて来てくれる

のだ。おのずと食の歴史は

古くなる。

しかし、今の筋子に通じ

なっている。そ

うした背景があつてこ

の、という民話があつてこ

る。白味が滲み出でてくる。愉快

な袋状になつたままの筋子の紹介が、古い文献には見つ

かなかつた。なぜだろう

に「食つたのですか」と聞

ながら聞いた話だとい

う。今年で創業420年を迎える現

在も「盛岡十一屋」という

おしゃれな酒屋さんとして

歴史を紡いでいます。

さらにそのつ軒隣には「盛

岡信用金庫」③があります。

この前身である盛岡信用組

合が1903(明治36)年に

創業した際、初代組合長を

務めたのが当時の十一屋當主・高橋伊兵衛でした。自

ら驚きです。初代は武

田敷地内に事務所を置き、

宅敷地内に事務所を置き、

低金利で資金を融資するな

ど地域の小さな商いを支え

その人柄から新渡戸稻造と

も交流があったといいます。

江戸時代になると『本朝

食鑑』なる書に「はらひ」

と称する記述が出てくる。

それは塩漬けしてバラバラ

にほぐれた状態の魚卵のこと。まさに今いうイクラだ

らも不明だ。

そもそも縄文時代から、

んなサケが黙っていても

近くにやつて来てくれる

のだ。おのずと食の歴史は

古くなる。

しかし、今の筋子に通じ

なっている。そ

うした背景があつてこ

の、という民話があつてこ

る。白味が滲み出でてくる。愉快

な袋状になつたままの筋子の紹介が、古い文献には見つ

かなかつた。なぜだろう

に「食つたのですか」と聞

ながら聞いた話だとい

う。今年で創業420年を迎える現

在も「盛岡十一屋」という

おしゃれな酒屋さんとして

歴史を紡いでいます。

さらにそのつ軒隣には「盛

岡信用金庫」③があります。

この前身である盛岡信用組

合が1903(明治36)年に

創業した際、初代組合長を

務めたのが当時の十一屋當主・高橋伊兵衛でした。自

ら驚きです。初代は武

田敷地内に事務所を置き、

宅敷地内に事務所を置き、

低金利で資金を融資するな

ど地域の小さな商いを支え

その人柄から新渡戸稻造と

も交流があったといいます。

江戸時代になると『本朝

食鑑』なる書に「はらひ

と称する記述が出てくる。

それは塩漬けしてバラバラ

にほぐれた状態の魚卵のこと。まさに今いうイクラだ

らも不明だ。

そもそも縄文時代から、

んなサケが黙っていても





# 元気をつくる情報紙 シニアズ Seniors'

シニアズホームページ <https://seniorsnet.jp> 検索はこのワード

シニアズ

検索

エフエム岩手

盛岡市内丸2-10 / <http://www.fmii.co.jp>  
 盛岡 76.1MHz 陸前高田 85.9MHz 大槌 78.4MHz  
 大船渡 79.7MHz 岩泉 78.3MHz 宮古 89.3MHz  
 野田 77.0MHz 二戸 82.2MHz 一関 80.3MHz  
 釜石 79.2MHz 速野 80.7MHz 山田 82.0MHz

6代目を継承  
庭師一家に生まれ

幕末の慶応年間に創業し、およそ160年の歴史を持つ盛岡市の豊香園。2代目治太郎さん、3代目益治郎さん親子が、1923年に起きた裁判所の火災から石割桜を守った縁で、代々その手入れを託されていま

す。石割桜を守るノウハウと老舗の伝統を受け継ぐのは、6代目の藤村尚樹さん。職人の父、祖父、曾祖父に囲まれ、食事中も庭木の会話が飛び交い、冬休みには門松作りを手伝う、そんな家庭で育ちました。

「石割桜の二コースで父がテレビに映ると、すごい仕事をしているんだな、いつか自分もそつなるんだと思った」と笑顔を見せています。大学で造園学を学ぶうちに、専門家として行政の役に立ちたいと公務員を目指した時期もありました

が、絶余曲折を経て家業を

継ぐ決心をしました。しかし、左利きの藤村さんにとって、道具や縄の結び方など一筋縄ではいかない苦労も、「待っていて教えてくれない職人の世界を見て覚えました」と樂観的な性格で

乗り越えていきます。そして、現場作業に加え、現会長の孝史さんからは営業手腕も学びました。「お

客さんの質問に的確に答えて納得してもらうトーキングは、いまだに父にはかないません」と話します。

こうして先代の下で修行を

積んでいた2018年の春、前触れもなく世代交代を告げられた藤村さん。「石割桜の廻いを外し終わったタイミングでした。父もまだ

元気で早過ぎるとは思いま

したが、一度口にしたこと

を曲げる人ではないので、任せたぞとスパッと隠居しました」と振り返ります。

突然の社長就任から半年以上が経ち、石割桜の雪

に寄り添う藤村さんに、仕事のやりがいをお聞きする

と、言葉を言わない植物の

異変に気付き、手入れをし

て元気に回復してくれた時

は最高に嬉しい」と話しま

す。逆に悲しいのは伐採

が相次ぎ、柿、栗の木の伐

採依頼が殺到しました。「空

き家に熊が居座る危険もあ

り、やむを得ず伐採しまし

た」。庭だけでなく空き家

の管理の相談も多く、空き

家の見回りや庭木の手入れ

をするサービスも開始しま

した。今後は、庭師の技術

を生かして地域の安全にも

貢献したいと話します。

最後に「これから季節

を立てるのに良い時期です

」とのこと。次は何を植えよ

うかイメージしながら、寒

い冬を楽しく過ごしてほし

いと話します。

植物の命に寄り添う仕事

囲いの作業が始まる頃「自分の代で枯らすわけにはいかない」と、大きなプレッシャーを感じるようになつたという藤村さん。老舗を継ぎ、守る責任の重さに気が引け締め、父に納得してもらえるような仕事を次の代につなぎたいと話します。

しかし、今年は熊の出没が相次ぎ、柿、栗の木の伐採依頼が殺到しました。「空き家に熊が居座る危険もあり、やむを得ず伐採しまし

た」。庭だけでなく空き家

の管理の相談も多く、空き家の見回りや庭木の手入れ

をするサービスも開始しました。今後は、庭師の技術

を生かして地域の安全にも貢献したいと話します。

最後に「これから季節

を立てるのに良い時期です

」とのこと。次は何を植えよ

うかイメージしながら、寒

い冬を楽しく過ごしてほし

いと話します。

近年ブームになっているサウナ。血行促進や疲労回復、睡眠の質の向上など、健康的なメリットもあるといわれており、通り始めていました。

そのため、サウナ施設やサウナ室を設置する事業所

が増えたり、アウトドアタ

イプや家庭用のものまで登

場しているとか。しかしながら

せられおり、注意が増えたり、アウトドアタ

イプや家庭用のものまで登

場しているとか。しかしながら